

# 日販連通信

第 61号  
2012年12月23日 発行

発行者：日本販売農業協同組合連合会  
中塚 敏春

住所：〒151-0053  
東京都渋谷区代々木2-5-5  
新宿農協会館  
電話：03-3375-6399 Fax：03-3375-6637  
Eメール：[info-agricoop@pearl.ocn.ne.jp](mailto:info-agricoop@pearl.ocn.ne.jp)

## 福島県浜通り農民連

# のまど 直売所「野馬土」を開店

津波、原発被害復興、地域農業再生の拠点に



12月22日、津波と東電福島第1原発事故で甚大な被害を受けている福島県相馬市で、待ちに待った復興の砦、直売所と交流施設がオープンしました。国道6号沿いにできたこの施設の名前は「野馬土(のまど)」です。

小雨の中での開店にあたり浜通り農民連の杉和昌会長が「農家には雨が必要です。この雨を明日へ生かすの

が農家です」と力強くあいさつ。福島県農民連の亀田俊英会長は「津波、原発事故の大変な被害で復興はこれからです。全国からの支援の声に応じて、みんなで力を合わせましょう」と呼びかけました。



あいさつする福島県農民連亀田会長



「農民の心はひとつ」と全国から農産物の無償支援

「野馬土」は、福島県浜通り農民連、浜通り農産物供給センターが中心になり、NPO法人(特定非営利活動法人)として準備してきました。「福島を被災農家を支えよう」、「福島を第二の水俣にするな」、「相馬に復興の砦を築こう」などの願いがこもった施設です。このプロジェクトは、日本だけでなく、フランスの市民にも支えられています。「フランス財団」に寄せられた義援金が、プロジェクトの大黒柱になりました。原発大国のフランスで、「FUKUSHIMA は、世界の問題だ」と、フランス市民が、被災農民への思いを、義援金に託してくれたのです。「フランス財団」への橋渡し役でフランス在住の雨宮裕子さんもかけつけ、「フランスの人も喜んでます」と激励のあいさつ。

直売所に放射能検査室が設置されています。相馬市内では0.2マイクロシーベルト前後あり、消費者が地元の野菜を安心して買えるようにと設置されました。

開店した直売所には、地元の新鮮な野菜や果実、加工品がずらりと並べられ、さらに日販連関係産地からの野菜、果実、加工食品がところ狭しと送られました。

直売所前の駐車場にはテントがずらりと張られ、イカ焼き、ホタテ焼き、焼きそば、豚汁、餅、牛乳などがふるまわれました。小雨の寒い中で、長い行列で順番待ちしても十分価値ありでした。

## 大盛況でした



### みかんの詰め放題に殺到

紀ノ川農協の松本専務が「開店イベントを楽しくするならこれが一番」と300kgのみかんと無償で届けてくれました。

案の定、参加者が「私もやりたい」と大殺到。「家も流れて仮設住宅にいる。ストレス解消にはこういうふうになにかに必死になるのが一番」というお母さんは袋が破れるまで詰め込んでいました。

手伝っていた福島農民連産直農協の佐々木参事は「一時は我も我もとなってあわやパニック寸前でした。店にこういう楽しさや笑顔があれば素晴らしい店になれる」と語っていました。



奥の太陽光パネルのある高い建物は米倉庫。右側が直売所。



座敷、調理場などを備えた多目的交流施設。



## 直売所に放射 能検査室

安心して地元の野菜を買っていただくために、直売所入口に放射能検査室を設置しています。

生産者は「これで自信を持って直売所に野菜の出荷ができる」と語っていました。

## オープニングイベントに住民が感動



寄せ太鼓と勇壮な太鼓演奏を披露した「秋まつり」の皆さんの力強さが体中に響き渡りました。



バンド・スキャンピーは農民連会員。プロ顔負けのハーモニー。参加者全員がうっとりでした。アンコールの声が止まりません。



京都の立命館大学の学生によるロックダンスとバトン。会場全員が手拍子、ステージと心ひとつに盛り上がりました。



フランスと言えばクレープ。交流施設ではフランス人がクレープふるまい、地元のお母さんたちの大歓声に戸惑う場面も。綾町のレモンを絞ってかけたらフルーツ感覚で一段と美味しい。

## 漁民と心はひとつ

復興支援、脱原発、TPP 反対

津波で町がなくなりました、頑張ろう！

品名 真崎わかめ（復興支援）

1袋 300円

応援しています 岩手県 田老町漁協

今回、津波で大きな被害を受けた岩手県田老町漁協にわかめや昆布の出荷をお願いしました。

「テレビで見たよ。あそこは相馬なんてものじゃなかったね。お互い被害者同士がんばらなくっちゃね」と1袋買ってくれました。

### たくさんのご支援ありがとうございました。

ご出荷いただいた産地は下記の通りです。

愛媛県柑匠の集(柑匠まどんな)、愛媛県有機農業者グループ(南柑20号)、宮崎県綾町農協(金柑、スイートスプリング、レモン、切干大根)、和歌山県紀ノ川農協(みかん)、供給センター長崎(じゃがいも、白菜、キャベツ、ねぎ、人参、大根、かぼちゃ、しょうが)、長野県沢柳きのご園(えのき)、大分県下郷農協(しいたけ、有精卵スープ)、茨城県ひたち野農協(レンコン、穂の香卵、産直卵)、山形県余目町農協(切餅)、岩手県田老町漁協(真崎わかめ、茎わかめ、とろろ昆布、だし昆布、ひじき)、福岡八女農協(炊き込みご飯の素)、宮城県柞加工連(豚肉ホルモン焼)

### 御礼

今回、「野馬土」開店に際しまして、全国からお祝いのご支援を賜りましたことに心から感謝申し上げます。

皆様の心温かいご支援で、素晴らしいオープンができました。福島県浜通りは津波と原発事故によって、16万人が避難を余儀なくされており、農業再建が極めて困難になっています。

「農民のこころはひとつ」のスローガンの通り、引き続き支援を行いますので、ご協力の程お願い申し上げます。

みなさまのご意見・ご感想をお待ちしております。 アドレス: info-agricoop@pearl.ocn.ne.jp